

人工知能はある事象が発生したら、それに関連する適切な情報を記憶から呼び出し、推論して追加の情報を得たりして、出力していくものです。このプロセスを整理していくと、次のような階層が考えられます。

**【データ】**

- ・ 生得的な基本データ要素 (オントロジー)
- ・ 学習して得たデータ要素 (モデル)

**【プロセス】**

- ・ 生得的な自動的に起動し実行するプロセス (オントロジー)
- ・ 学習で得た自動的に起動し実行するプロセス
- ・ 意志の下で起動し実行するプロセス

画像認識ですと、ものを観れば自動的に点とか線分を認識するプロセスが起動します。そうして、リンゴとかミカンとかの学習されて得たデータと照合します。好きなものは速く認識されるでしょう。これは学習によって得たプロセスです。ですが、まったく自動的に起動するプロセスです。

そうして、目を移動させて、籠を探すことは意志の配下で行われます。意志の配下では、目を移動させるだけで、自動起動のプロセスが意志と関係なく動いていきます。

推論も自動的なプロセスで行われるものと意志の配下で行われるものがあります。「意志」も基本的には外界の状況に突き動かされるのですから、自動プロセスとも考えられますが、一応、行動結果を評価しつつ行うということが違ってきます。ま、得ていく情報の範囲が広いか狭いかということですが、

ということで、プロセス群は高度に平行処理可能ということが言えます。とにかく、データを作って、上位のプロセスに渡せば良いのですから。

おわり